学年	教　科	科　目	教科書名	副教材名
高３ (総進)	地歴科	日本史研究	『詳説日本史Ｂ』 （山川出版社）	『復習と演習　日本史テスト』 （山川出版社）

１．授業のねらい

① 日本の歴史の展開を総合的に考察し，歴史的思考力を培い，国際社会を主体的に生きる国際人としての資質を養う。

② 歴史を考察する基本的な方法を理解するとともに，歴史への関心を高め，歴史的な見方や考え方を身に付ける

③ 史料・資料の読解力を養う。

④ 大学入試問題に対応できる基礎力を身に付ける。

２．授業のすすめ方

① 『日本史Ｂ復習と演習　日本史テスト』（山川出版社）を使用し，演習形式で授業を進めます。重要事項を板書します。日本史専用ノートを用意し，授業中の重要事項は必ず書き留めるようにしてください。

② 事前に予習（解答）して，解答したノートを写真にとり，ロイロノートで提出してください。授業で問題の要点を解説します。

３．学習上の留意点

① 歴史は科学です。原因・過程・結果の積み重ねが，教科書にまとめられています。人物名・事件名・年号などを暗記することも大切ですが，歴史事象の背景を理解することによって，歴史的思考力を養うことができます。授業ではそのことを意識して臨んでください。

② 歴史（過去）を学ぶことによって，現在の問題（課題）を考え，未来（解答）を導き出す学問です。常に「なぜ」の問いかけを持つようにしてください。

③ 教科書をよく読んで，歴史の流れをつかむようにこころがけてください。

④ 山川出版社の『詳説日本史Ｂ』は多くの高校で使用され，大学入試問題作成者も参考にしています。大学入試問題はこの教科書から出題されるといっても過言ではありません。常時，携帯してわからないことは教科書で確認する習慣をつけましょう。教科書の本文だけでなく，脚注・地図・図版・史料・写真などにも目を通しておくことが大切です。

４．副教材・参考文献

① 『復習と演習　日本史テスト』（山川出版社），『詳説　日本史図録』（山川出版社）は，授業には必ず用意しておいてください。

② 授業の理解を高めるため，『日本史Ｂ用語集』（山川出版社）の購入を推奨します。受験生の必需品です。

③ 大学受験用に『一問一答日本史Ｂ用語問題集』（山川出版社）も推奨します。

５．評価方法

① 定期考査３回（１００点×３）・平常点（１学期２０点＋２学期１０点）

② 平常点は授業中の態度を中心につけます。積極的に授業に参加する姿勢，発問に対する回答状況，ロイロノートの提出等を評価します。

６．定期考査

① 定期考査は授業内容から主に出題します。毎回の授業に集中し，教科書をしっかり読んでください。

７．指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	四月 五月 六月 七月	古代史問題演習 中世史問題演習 近世史問題演習	授業姿勢 ノートの状況 中間考査 （実力テスト） 授業姿勢 ノートの状況 期末考査	大学入試に向けた問題演習を行い，実戦力をつける。
二学期	九月 十月 十一月 十二月	近世史問題演習 第１０章　二つの世界大戦とアジア １　第一次世界大戦と日本 ２　ワシントン体制 ３　市民生活の変容と大衆文化 ４　恐慌の時代 ５　軍部の台頭 ６　第二次世界大戦 第１１章　占領下の日本 １　占領と改革 ２　冷戦の開始と講和 第１２章　高度成長の時代 １　５５年体制	（基礎学力到達度テスト） 授業姿勢 期末考査	大学入試に向けた問題演習を行い，実戦力をつける。 １．第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響を理解する。 ２．政党の役割と政治や社会運動の動向および文化の特色を理解する。 ３．対外政策の推移と戦時体制の強化など第二次世界大戦と日本のかかわりを理解する。 ４．第二次大戦後の日本の復興と経済成長について理解する。
三学期	一月 二月 三月			

※シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。